

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	城下町らしさを演出した景観整備促進事業	
事業主体 (連絡先)	松代中心市街地活性化協議会 (〒381-1231 長野市松代町松代 1361 長野商工会議所 松代支所内 TEL 026-278-2534)	
事業区分	主	⑥ア特色ある観光地づくり
	関連	③教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト事業	
総事業費	1,048,720 円 (うち支援金: 838,000 円)	

事業内容

地域おこし協力隊員、地元事業者、学識経験者など20代～60代の男女による「城下町松代 建物めぐりプロジェクト委員会」を設置し、検討を重ね次の通り事業を行った。

1. 「城下町松代 街なみ写真展」開催

11月14日(火)～28日(火)松代町の寺町商家、12月1日(金)～20日(水)松代郵便局で写真展を開催した。当会等が主催し今年20周年となる「街なみ景観賞」を受賞した100件を超える建物の写真とエリア毎の文化財、歴史的背景、周遊コースを掲示した。

2. 『城下町松代 暮しが見える建物めぐり』冊子制作

街なみ景観賞を受賞した100件を超える建物や文化財、周遊コース・所要時間を記載した地図、各エリア毎の解説を掲載した冊子(A4、32頁)を制作し、地域住民、小中学校、観光客等に頒布した。

3. 「城下町松代を学ぶ講演会」開催

11月14日(火)、3月17日(土)長野市役所松代支所で、三浦正幸氏(広島大学大学院教授)、西和彦氏(東京文化財研究所室長)による、城下町松代の歴史や町並みについて学ぶ講演会を開催し、あわせて100名以上が参加した。その他、景観賞受賞作の金属など、街あるきのサインとなるプレートを制作し、受賞作に設置した。

事業効果

城下町の街なみ整備への意識啓発・促進

2カ所で35日間にわたった写真展には延べ1,000名の来場者があった。冊子は300冊を制作し、地域住民、小中学校、関係者、観光客に頒布。講演会には、あわせて100名を超える聴講者があった。SNSも用いて事業内容のPRを行った。

今後の取り組み

次年度以降、今回制作した冊子『城下町松代 暮しが見える建物めぐり』を使って建物を巡る街あるきイベントなどを開催し、地域振興に活用する。冊子を街あるきセンター等で頒布し、観光客が再度訪れるきっかけとなるようPRする。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



寺町商家での街なみ写真展の様子



松代の建物をめぐるガイドブックを作成



城下町をテーマにした講演会の様子

【目標・ねらい】

- NHK大河ドラマ「真田丸」放映による観光客増加の維持拡大
- 松代城の第二期整備計画にあわせた城下町らしさを演出した景観の整備促進
- 「城下町松代 街なみ景観賞」表彰事業の周知
- 新規移住者等地域住民との協働による地域活性化

自己評価 【A】

【理由】郵便局での写真展など、多くの地域の方に写真を見て頂き、冊子とあわせて城下町松代の街なみ整備の重要性を訴えることができた。今後はこの冊子を活用した街歩きイベント等を開催予定。